



自立心や協調性を

保呂羽山で小五「宿泊訓練」

自然の中での団体生活を通して自立心や協調性を養い、豊かな情操と創造力を身につけさせよう——と七月二十七日から三日間、町内小学校五年生を対象とした「宿泊訓練」が、大森町の保呂羽山少年自然の家を中心に行われました。

訓練には、四校から六十八人の児童が参加し、各校教職員、町教育委員会職員らが指導、世話にあたりました。今年は、初日、二日目と雨に見舞われ、予定していたテント泊が出来ず、子供たちはがっかり。しかし、キャンドルサービスや巣箱づくり、室内レクリエーション、それに、晴れ間をぬって追跡ハイキングやナイトハイキングなどで楽しみ、保呂羽山麓一帯に明るい歓声を響かせていました。

わずか三日間という短期間でしたが、親元を離れての共同生活は、子供たちに連帯感と強い友情の絆を生み出させ、少年時代の大きな思い出となったようでした。

町の 生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

"もりひめ号"(小松良一さん所有)全共へ

県代表牛として出陳



県代表となった「もりひめ号」と小松良一さん

来る九月、福島県で開かれる第四回全国和牛能力共進会の秋田県予選最終審査が、七月十五日河辺町戸島の県中央家畜市場構内で行われ、本町山崎・小松良一さん飼養の「もりひめ号」が、みごと、第六区(若雌の三、黒毛和種、二十〜二十三カ月齢)の県代表に選ばれました。

県予選同区には、いづれ劣らぬ優秀牛十一頭が出品され、全共県出品委員会によって、五十六年十一月から立ち会い審査など厳正な審査が進められ、この日の最終審査を迎えたものです。

全国共進会は、社団法人全国和牛登録協会が昭和二十八

年から大体五年に一回の周期で開いており、実質的には六回目にあたります。ただし、共進会の名に能力の文字を加え能力共進会と銘打って開くようになってからは四回を数えるものです。

今回は、「和牛改良組合を発展させよう」をテーマに、九月十五日から二十日まで福島県安達郡本宮町で開かれます。出品頭数は、三十三道府県からそれぞれ三〜五頭が、たエリート牛約三百三十頭が予定されており、晴れの大舞台で「畜産東由利」の名を全国に知らしめる「もりひめ号」の活躍に大きな期待が寄せられています。

臨時議会

直接
請求

条例改正案は否決

常任委員会数を三に

町議会第五回臨時会は、七月二十三日に招集され、町立学校条例の改廃請求▽一般会計補正予算▽議会委員条例の一部改正―について審議。議案中、八塩小の位置の変更を求めた住民直接請求による町立学校条例の改正案は否決。外二件は原案どおり可決し、各常任委員会の構成を決定して閉会しました。

八塩小学校新築工事が進められていたなかの七月十二日、十人の有効署名を添えて、町「校地が狭い」などを理由に同小の位置を通称向山地域に変更するよう求めた学校条例改廃請求が、直接請求者代表の小松賢さん(石高)、佐藤

順治さん(下小屋)から百六長に提出されました。町長は、七月二十三日「現在建築中の同小校舎の位置変更は物理的に不可能な措置であり(既に事業認可、補助金

の決定済)、改廃請求による条例案には同意できない」という意見書を付け、直接請求による条例案を議会に提案しました。

本会議では、反対、賛成の討論の後、無記名投票が行われ、賛成三、反対十四で直接請求による学校条例改正案は否決されました。

可決案件概要は次のとおり。

【昭和五十七年度町一般会計補正予算】

歳入歳出予算の総額にそれ

ぞれ五千八百八十八万一千円を追加し、歳入歳出それぞれ二十三億一千二百二十三万七千円とした。

歳出補正の主なものは▽大平スキー場休憩施設建築工事関係費四千七百七十五万三千円▽土場沢林道局部改良工事関係費九百四十五万五千円▽全国和牛能力共進会出陳関係費二十二万四千円―など。

【町議会委員会条例の一部を改正】

議員提案により、議会常任委員会数をこれまでの四から、次の三委員会にし、委員数はそれぞれ六人とした。

各委員会の委員は次のとおり。(◎は委員長、○は副委員長、敬称略、順不同)

〈総務財政委員会〉 ◎長谷山二郎 ○遠藤正男・佐藤文一郎・梅津栄一・小松梯之助・小野昭一
 〈教育民生委員会〉 ◎小野作右エ門 ○長谷山喜市郎

・小松与惣雄・伊東庄一郎・渡辺清一・五十嵐宗憲
 〈産業建設委員会〉 ◎川尻幾郎 ○遠藤治郎助・小野要造・阿部剛・長沼久男・小松豊

走・打に老らハッスル

ことぶき大学大運動会



老らは元気、曲がった腰もピンと伸びー今年で三回を数える町ことぶき大学大運動会が七月五日、町内十の老人クラブから二百七十人余りが参加して台山グラウンドで行われました。

一本のヤクルトを仲良くふたりで……一段と大きな声援が

大会は、老方敬寿会の畠山蔵太郎さんの力強い選手宣誓で始まり、往年の名選手らは、夏の熱い日射しの下、満杯リレーや暗算競争、関所やぶり、いろはかるた

大会、ボールおくり、ゲートボールなどに大ハッスル。一本のヤクルトを仲良く二人で飲みほしゴールインするアベック競争では、応援席からいちだんと大きな声援が送られるなど、台山には終日、おじいさん、おばあさんらの笑顔と若やいだ歓声があふれていました。

過去最高の125頭出陳

資質・体型ともに粒ぞろい

町共進会

今年の町畜産共進会は、六月三十日肉・乳牛合わせて昨年より二十七頭多い過去最高の百二十五頭が出陳され、上の代グラウンド（館合新田）で盛大に開催されました。

出陳内訳は、肉用牛百十四頭、乳用牛十一頭。

年に一度、丹精込めて育てあげた自慢の牛を一同に集め、資質、体型などを競い合うこの共進会は、今年で二十七回を数え、お互いの飼養技術の向上、知識吸収の場として町の畜産振興に大きな役割を果たしています。

会場には、出陳者はもちろん、出陳しなかった農家もおおぜい詰めかけ、出陳名簿と照らし合わせながら一頭一頭

を食い入るように見つめ、個体解説に聞き入っていました。

褒賞授与を前に、審査員を代表して県中央家畜保健衛生所の平塚防疫課長が「当町の肉用牛飼養は秋田県内でもトップクラスにあり、今日の出陳家畜の中に皆さんの畜産意欲が伺われた。輸入肉等の外部からの圧迫、畜産公害の自発的要素など、種々厳しい環境にあるが、一層の研鑽により、足腰の強い酪農、肉牛生産を期待する」と講評。

出陳牛は、粒ぞろいのいづれ劣らぬものばかりで、審査員も順位の決定に苦慮する場面も見られ、本町の飼養技術が高水準にあることを物語っていました。

一等賞一席以外の上位入賞は次のとおりです。（マル内は席次。月齢は六月三日現在。所有者敬称略）

〇肉用牛

- ・一位 久山和牛改良組合
- ・二位 大琴畜産改良組合
- ・三位 宿下吹改良組合
- 〇乳用牛
- ・一位 蔵地区・宿地区

（黒毛和種・育成牛区（十一月以上十四カ月未満））

- ・一等賞 ②ふくはる五号
- 小野祐喜（宿）
- ・二等賞 ①ふくひめ号 高橋一男（松柴） ②つぎはる号 佐々木安彦（大琴）

（同・若牛区（十四カ月以上十七カ月未満））

郡共

団体賞肉用牛

の部で二位

第十八回由利畜産共進会が七月二十一日、本荘家畜市場構内で行われ、本町からは、町共進会の上位入賞牛十二頭及び高等登録群一組（三頭）が出陳。厳しい審査の結果、三頭、一組が上位入賞を果たし、団体賞肉用牛の部で二位

- ・一等賞 ②ゆき号 鈴木博（大琴）
- ・二等賞 ①第三もりつぐ号 藤原虎之助（上通） ②はるひめ号 高橋駒蔵（須郷）
- （同・成牛一区（十七カ月以上二十三カ月未満））
- ・一等賞 ②もりひめ号 小松良一（山崎） ③ささひめ三号 佐々木善一郎（大琴）
- ・二等賞 ①第八ふくみつ号 佐藤好男（津沢） ②たけは

- な七号 小松建一（山崎）
- （同・成牛二区（二十三カ月以上））
- ・一等賞 ②ふじひめ号 小野祐喜（宿）
- ・二等賞 ①第一ふくはる号 横山隆一（石高） ②たかひめ号 佐々木幸雄（大琴）
- （ホルスタイン種）
- ・二等賞 ①メドーチャリー エナジー 小野勲一（下吹）
- （ジャージー種）

- ・二等賞 ①ウイローロマン スマイルストンハーモニー 畑山克司（島）
- （母系系統牛群）
- ・一等賞 よしさかえ号、よしさかえ一号、よしさかえ二号 畑山藤作（土場沢）
- ・二等賞 はるこ号、はるみ一号 佐々木幸男（大琴）
- はるみ号 佐々木善一郎（大琴）

の好成績を収めました。上位入賞者等は次のとおりです。（敬称略）

★優等賞

（黒毛和種成牛区） 小松良一（山崎） もりひめ号

（同・高等登録群区） 畑山藤作（土場沢） よしさかえ号、よしさかえ一号 よしさかえ二号

★一等賞

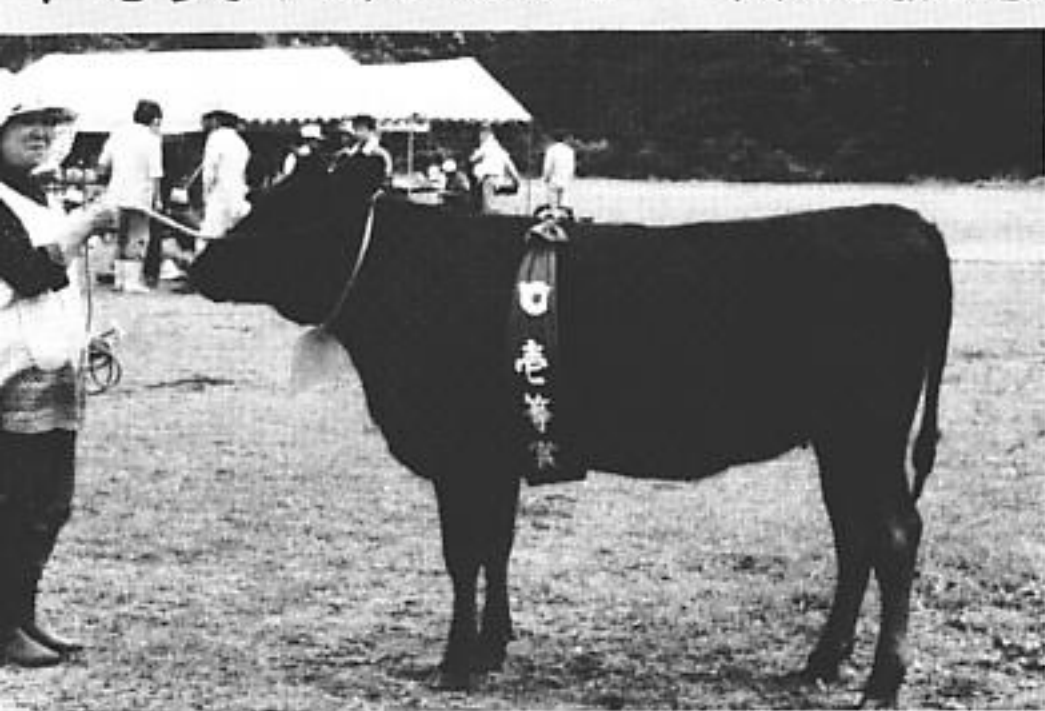
（黒毛和種成牛区） 高沢忠（津沢） ふくひめ号・高

橋喜久男（須郷） ゆりえ号

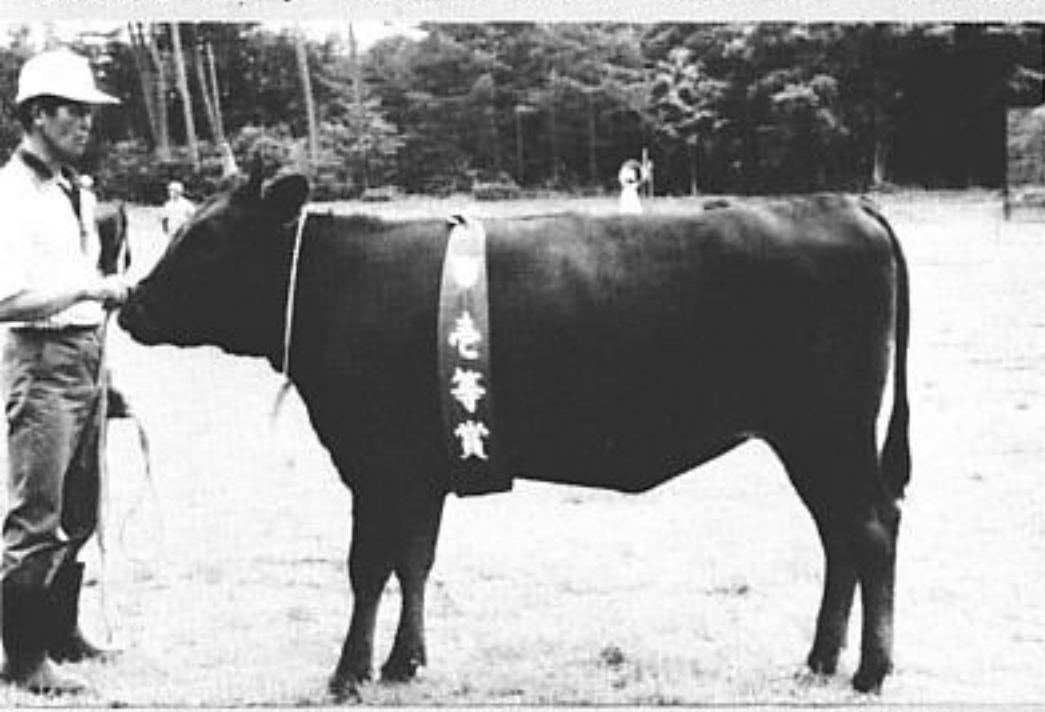
また、同共進会褒賞式の席上、多産牛表彰が行われ、次の方々を表彰状が贈られました。（敬称略）

- ・高橋莊四郎（久保） ふくひめ号（十一産） ・横山治三郎（泡の淵） はなひめ号（十一産） ・小野久亮（須郷田） つばさ号（十産）
- ・浅田民義（舟木） とみ号（十産） ・加藤清（湯出野） きちひめ号（十産）

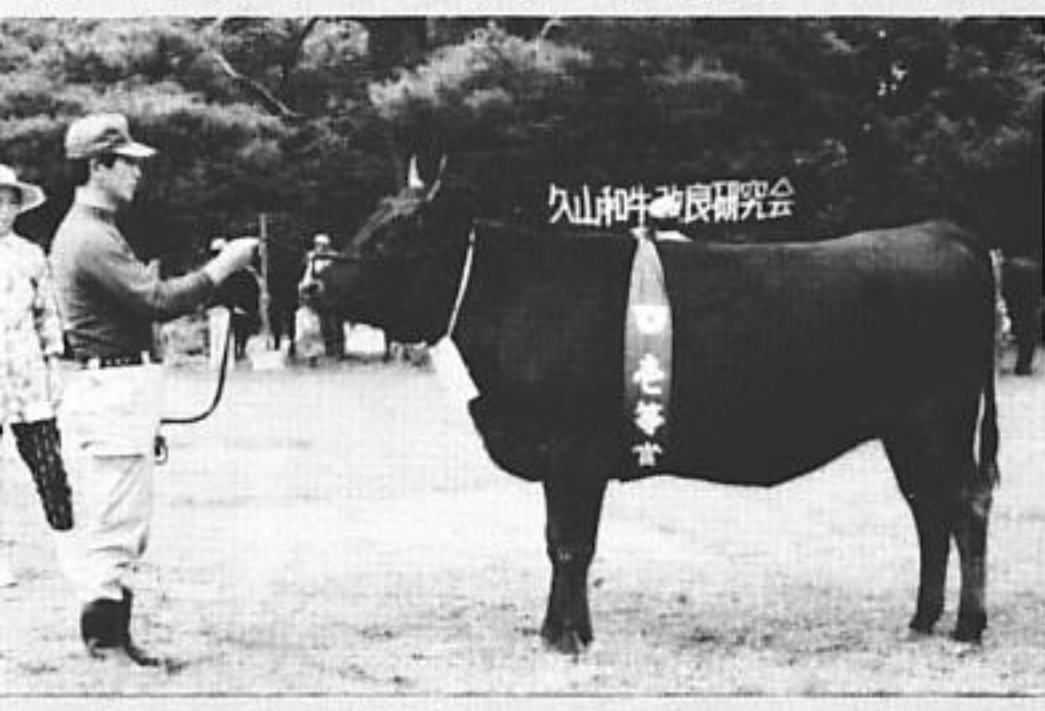
1等賞1席入賞牛（所有者敬称略）



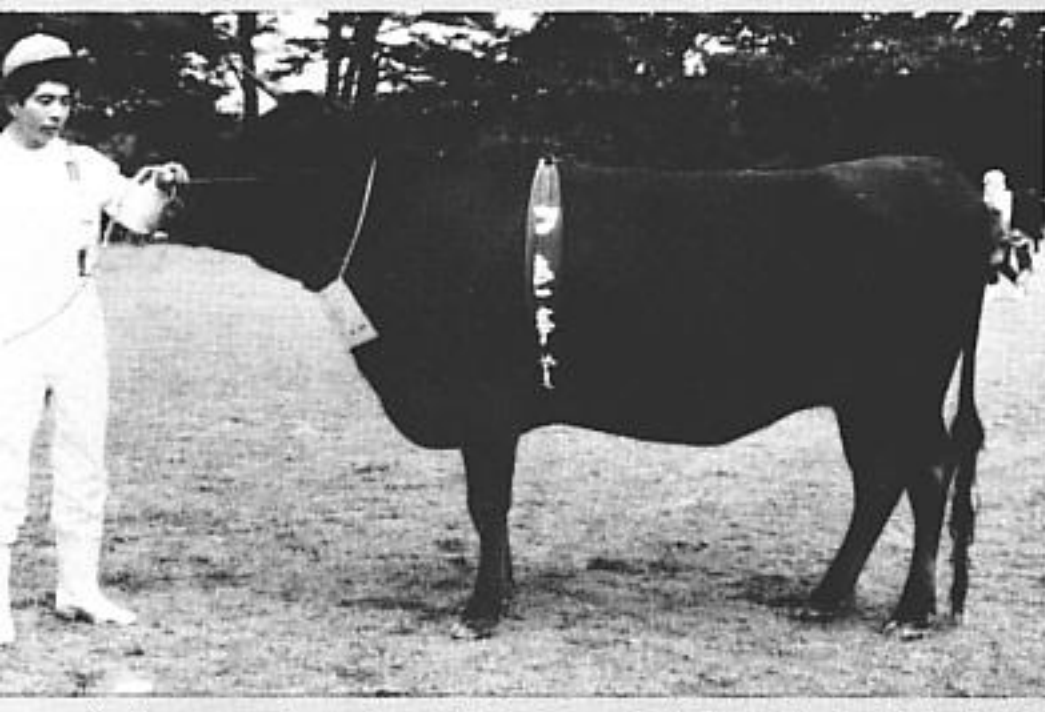
〈育成牛区〉きよみ5号 畑山清一（下吹）



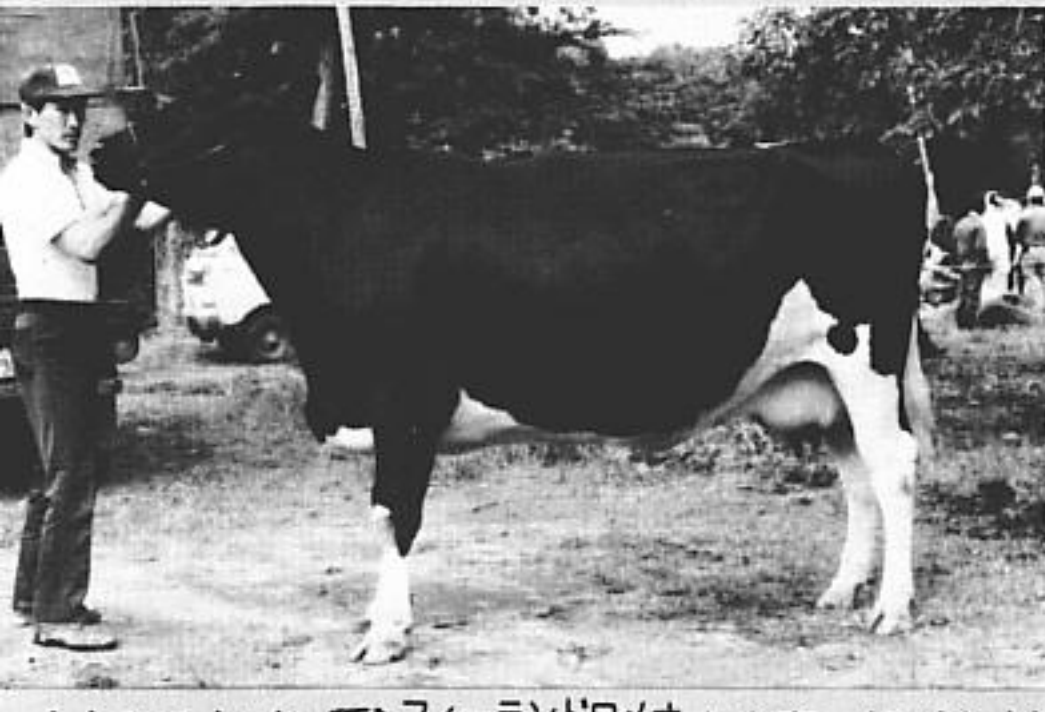
〈若牛区〉まつこ1号 小野貞一（蔵新田）



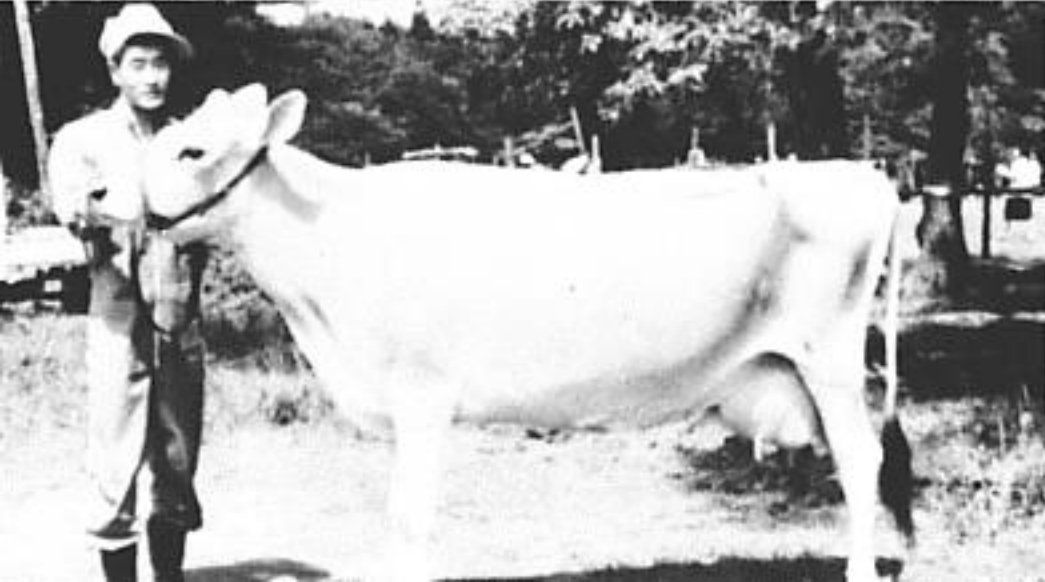
〈成牛一区〉ふくひめ号 高沢 忠（津沢）



〈成牛二区〉ゆりえ号 高橋喜久男（須郷）



〈ホルスタイン種〉フィーランドロメオクリスタン 大庭喜一郎（舟木）



水道拡張
事業

総工事費は約十億円

一人一日当たり
通常給水量
三百八十七
リットル

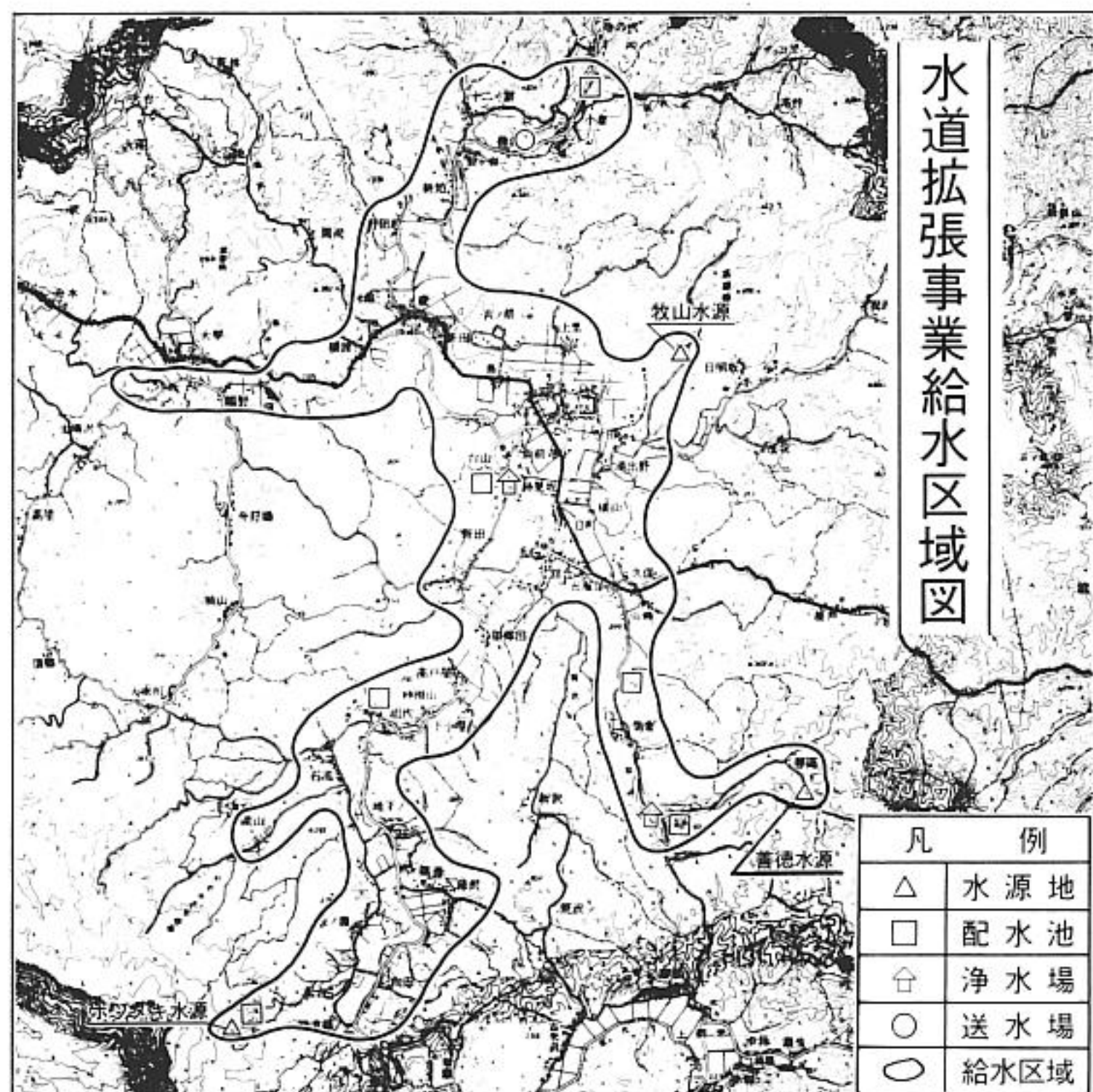
「七三・九%」これは、本町で水道を利用している人の割合です。

すべての人々がひとしく水道のある生活が送れるように——町では、今年から国の補助を受け、新たに松沢の善徳川を水源として、館合水道を併せた東由利水道の拡張工事を計画しています。

給水範囲は、これまでの東由利・館合両水道給水区域に、新たに、法内(高村、

中の沢は除く)、宿、下吹、松柴、深山(石高)、上里(一部)の未設置地区を加え、四十三集落、千二百五戸の予定です。工事期間は三カ年、総工事費は約十億円を見込んでいます。

事業実施を前に町では、七月十九日から四日間、給水域住民を対象に町内七カ所で事業概要の説明会を開き、理解と協力を要請しました。

未給水地区
の解消を

なぜ水道の拡張工事をしなければならぬか——理由は、二つあげられます。

その一つは、未給水地区の解消です。

出羽丘陵の山々に囲まれ、集落・民家が点在している本町では、地形や投資効率などからいって一本の水道で町内全域に給水することは不可能です。このため、町では、国の諸制度を活用し、それぞれの地域の実情に合わせて水道の整備を進めてきています。

その結果、現在、全町民の七三・九%が、じや口をひねるだけできれいな水を安心して飲み使えるようになりました。

こうした中で、法内地区や宿、下吹、松柴、深山(石高)地区などでは、依然として、質量ともにじゅうぶんとは言えない沢水や井戸水に頼る生活を送っており、一日も早い水道整備を望んでいます。

古来、住居を構えるときの第一条件は、飲料水が得られるかどうかが決め手とされてきました。しかし、文化が進むにつれそれだけでは止まらず、水の安全性や豊富さ、機能が重視されるようになり、いつ、どこでも清浄な水が必要で、ただ使える水道の普及が、文化のバロメーターとしてみ

られるようになったのです。これらを合わせ考えると、全町民がひとしく健康で文化的な生活が送れるように、一日も早く未給水地区の解消を図ることが必要というわけです。

給水量不足
を解消

もう一つの理由は、使用量増大による給水量不足の解消です。

近年、生活文化の向上とともに、水道の需要量は著るしく伸びてきています。

国土庁の調査によりますと、全国平均一人一日当たり家庭用水使用量は、昭和四十年に九十六リットルだったのが、五十年には百七十五リットルと十年間で二倍近くになっています。しか



1日当たり給水能力1,200トンの善徳水源。

も、この使用量は、今後も伸びるものと予測され、同庁では、昭和六十年には二百三十三リットル、六十五年には二百六十六リットルに達すると推計しています。

こうした水道使用料の増加傾向は、本町でも同じです。

東由利水道は、昭和四十八年厚生省基準の一人一日当たり給水量百九十リットル、また館合水道は、昭和三十三年の同省基準百五十リットルをともに、それぞれ設計されています。

このため、水使用量の増大に伴い、二月・十月の渇水期や七月から八月の夏場は、東由利・館合両水道の配水池はどれもがカラ寸前の状態で、標高の高い地域では一部断水、また、万一火災が発生した場合でも消火栓は使用できない状態になっています。



8月1日は「水の日」

二千円前後を想定しています

新規加入金は四 年間で分割納付

また、新規加入は百五十六戸を見込み、一戸当たり加入金は十二万円とし、四年間の分割納付にしたい考えです。

町では、この後、新規加入者の取りまとめを行い、出来るだけ早く工事に着手するよう事務手続き等を進めていくことにしています。

大平スキー場を拡充整備

一般 三千七百九万四千円補正
会計

六月定例議会

町議会第四回定例会は六月二十九日に招集され、会期を同日一日限りとした。町長の行政報告があり、続いて一議員が一般質問。この後、昭和五十七年度一般会計補正予算案など十二議案を審議、いずれも原案どおり可決して閉会しました。

行政報告の要旨及び可決案件等は次のとおりです。

行政報告

八塩小 六月十日付で事業認定
新築工事

森林総合 三億四千万円
整備事業

行政報告を申し上げます。
八塩小学校の建築工事は、五月三十一日に契約の御承認を得て、現在、杭打ちが完了し、地中梁の作業に入る段階です。

工程の目安としては、益までに二階のフロアーまで打コンし、九月三十日までには全体の打コンを終え、内外装及び外構工事の期間を二カ月半とみて十二月二十日までに完成し、二学期中に校舎使用が可能になるよう進めたい考えです。

本省よりの事業認定が六月十日付であり、六月二十三日に本休分の事務手続きを終え、来月二日に給食関係分の手続きを行う予定です。工事の設計額と落札額、及び補助内示額の資料を提出しています。

水道拡張事業は、浄水場と配水池の位置変更、浄水機の選択に時間を費やしましたが、この間、議会特別委員会、町執行部ともに事業内容の検討を煮詰め、現在、設計書作業の段階です。町民に拡張事業の理解を深めるための説明会を、七月上旬・中旬に行う予定です。



出羽丘陵開発事業については、すでにご案内の通りであります。本同意、集団利用計画検討のため、集落の協議

を七月五日から十五日までの間に行うよう計画しています。昨年開設しました大平スキー場は、予想以上の好評を得て、さらに拡充整備されたいという希望が多くあります。ゲレンデの拡張、道路の改良、駐車場の整備、ロープウェイの増設、ヒュッテの新設などありますが、当初予算時点においては検討期間がなく、構想を持ちかねていました。その後、部内での検討の結果、大平スキー場を郡内スキー場として位置づけるために、本年度中に前記施設を整備すべき

と考え、検討中です。投資が高額になるため、議会とのご協議を願いたいと考えています。山村振興事業計画は、計画期間二カ年を予定していましたが、県より一カ年間に変更されたいと要望があり、現在、計画の検討中です。部内検討、農協、森林組合、商工会との団体の検討もしています。議会サイドからのご検討もあれば計画樹立上、有意義と考えるしだいです。森林組合について一言触れたいと存じます。申すまでもなく、民有林の担い手は、森林組合でありませんが、その置かれていた実情は、林業振興の期待に添うには構造的に問題であると考えるますが、それはしばらく置きまして、本年度から実施に入っている森林総合整備事業があります。

は、実施率を高め、補助金収入の増大と本町の民有林の整備を高めるために、林業担当の町職員をもって森林組合への協力態勢をくふうして行きたいと考えています。蔵・老方小の統合の実現に向かつて両地区に具体的な動きが出て来ましたが、同慶の至りです。できるだけ早く態勢が整備されるよう、ともども努力し、念願するものです。

可決案件

国道一〇七号線蔵工区は、明年度で工事完了の予定です。

【国民健康保険税条例の一部を改正】

五十七年度国保税の賦課税率等を次のように改正した。カッコ内は現行。

- ・所得割 百分の四・六(百分の四・八)
- ・資産割 百分の二・五(百分の二・七)
- ・均等割(一人当たり) 一万二千円(一万七千八百円)
- ・平等割(一世帯当たり) 一万六千六百円(一万七千六百七十円)
- ・課税限度額 二十万七千円(二十六万六千円)

【町簡易水道事業給水条例の一部を改正】

大琴簡易水道及び東由利・館合簡易水道の臨時用基本料金(一立方メートルにつき)を百五十円(現行八十円)に改めた。

新工区の設定のため、上級機関への働きかけの時期が来ていると思いますので、議会においてもご検討いただきたいと思います。本議会に提案致しました案件は、条例案七件、専決処分による予算の承認一件、一般会計補正予算案、特別会計補正予算案二件、単行議案一件、以上十二件です。よろしくご検討をお願い申し上げます。以上、行政報告を終わります。

【町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正】

費用弁償額を次のように改めた。カッコ内は現行。

- ・水火災の場合、警戒の場合、訓練の場合(一回) 二千五百円(千七百円)
- ・自動車運転者(年額) 八千円(五千円)
- ・同助手(年額) 五千円(三千円)
- ・動力ポンプ操作員(年額) 五千円(三千円)

【議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正】

報酬月額を次のように改めた。カッコ内は現行。昭和五十七年六月一日から適用。

- ・議長 十五万五千円(十三万五千円)
- ・副議長 十三万五千円(十一万五千円)
- ・議員 十二万五千円(十一万五千円)

【特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正】

町三役の給料月額を次のように改めた。カッコ内は現行。昭和57年6月1日から適用。

・町長 五十万円(四十八万円) ・助役 二十八万円(二十六万円) ・収入役 三十六万円(三十四万円)

【教育委員会教育長の給与及

び勤務時間等に関する条例の一部を改正】

教育長の給与月額を三十四万円(現行三十二万円)に改めた。昭和57年6月1日から適用。

【過疎振興計画の一部を変更】

交通通信体系の整備について一括記載していたものを、各路線ごとに細く明文化した。

【専決処分の承認(昭和五十

七年度町一般会計補正予算(第二号)】

歳入歳出予算に千三百三十五万四千円を追加し、総額をそれぞれ二十二億千六百二十六万二千円とする補正予算を専決処分したもの。

歳出補正は、全額大台地区農道整備費。

【昭和五十七年度町一般会計補正予算(第三号)】

・スパイ防止法制定促進に関する意見書の提出を求める要望書について(スパイ防止法制定促進秋田県民会議議長高

陳情・請願等

【付託事件に係る審査報告】

○総務常任委員長報告

・たばこ、塩専売制度存続に関する請願(増田たばこ耕作組合長石沢松治ほか)……採扱すべきとした。——採扱

・核兵器完全禁止と軍縮を国連と政府に要請することについて(原水爆禁止本荘由利協議会会長狩野光弘)……採扱すべきとした。——採扱



陳情審査報告をする
長谷山総務委員長

○産業経済常任委員長報告

・農道橋架設について(高橋民治郎ほか十一人)……現地踏査をし、検討を重ねてきた結果、下流にある橋の高度利用、また、これに関連する農道を考慮し、この下流の橋を利用したほうが効果的である



陳情審査報告をする
川尻産経委員長

という事で意見が一致。地域住民、関係住民の創意工夫によることが望ましいということから不採扱にすべきとした。——不採扱

《その他・採扱としたもの》

・昭和五十七年度産米の政府買入価格等に関する陳情について(東由利農協青年部長遠藤芳裕ほか)

・大吹川袖山地区水道事業の早期完成について(大吹川袖山水道組合代表佐藤公一) 《同・継続審査としたもの》

一般質問(要旨)

除雪機械格納庫

などについて問う

五十嵐憲議員

《質問》 稲の生育は現在のところ順調と言われるが、長

気予報によると、今年も冷夏であるやに報道され、農家は、三年続きの不作かと心配している。これに対する指導、対応は。

《町長》 現在の生育はまず

良好であると判断されるが、今後、予断を許さないという認識のうえに立ち、対処していきたい。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ三千七百九万四千円を追加し、歳入歳出それぞれ二十二億五千三百三十五万六千円とした。

歳出補正は、議員報酬、特別職給与等の改定に伴うもののほか、主なものは▽粗大ゴミ処理場整備費五十五万九千円▽簡易水道特別会計繰出金四百八十三万五千円▽湯の沢地

区草地造成費四百二十六万七千円▽家畜人工授精運営委員会補助八十万二千円▽第三期山村振興計画費四十九万

円▽災害危険住宅移転事業費補助百万円▽東由利中楽器購入費百万円▽町民グラウンド管理費百二十六万七千円など。

【昭和五十七年度町国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二百七十九万九千円を追加し、歳入歳出それぞれ三億六千五百三十二万二千円とした。

歳出補正は、財政調整基金

積立金二百七十九万九千円。

【昭和五十七年度町簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ四百九十九万五千円を追加し、歳入歳出それぞれ三千万三千円とした。

歳出補正の主なものは、施設用地購入費四百三十万円。

【一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正】

行政関連法の施行に伴い、児童手当の支給要件などについて改正したもの。

【昭和三十七年度町一般会計補正予算(第二号)】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ三千七百九万四千円を追加し、歳入歳出それぞれ二十二億五千三百三十五万六千円とした。

歳出補正は、議員報酬、特別職給与等の改定に伴うもののほか、主なものは▽粗大ゴミ処理場整備費五十五万九千円▽簡易水道特別会計繰出金四百八十三万五千円▽湯の沢地

区草地造成費四百二十六万七千円▽家畜人工授精運営委員会補助八十万二千円▽第三期山村振興計画費四十九万

円▽災害危険住宅移転事業費補助百万円▽東由利中楽器購入費百万円▽町民グラウンド管理費百二十六万七千円など。

【昭和五十七年度町国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二百七十九万九千円を追加し、歳入歳出それぞれ三億六千五百三十二万二千円とした。

歳出補正は、財政調整基金

積立金二百七十九万九千円。

【昭和五十七年度町簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ四百九十九万五千円を追加し、歳入歳出それぞれ三千万三千円とした。

歳出補正の主なものは、施設用地購入費四百三十万円。

杉森集落に会館

ミニ総パ事業で建設



待望の会館建設——地鎮祭を行い工事の安全を祈る関係者

待望の会館が出来る——杉森集落会館の地鎮祭が七月十五日、町長、地域住民、工事関係者らが出席して、同集落内を通る町道大下線沿いの建築現場で行われました。

集会施設がないため、自治会長宅などで会合を開いていた同集落では、会館建設を望む声が数年前から出されていたもので、今回、この願いが、農村基盤総合整備事業（ミニ総パ事業）の農作業休養施設整備として実現をみることにしたものです。

会館は、木造平屋建て床面積九一・六五一平方メートル。集会室、和室、調理室、納戸があり、研修、生活改善などの機能も備えています。

総工事費は千三十五万二千円ですが、これは、補助金や起債などでまかなわれるため地域の負担はありません。

工期は九月十日となり、おり、長い間の願いがかなえられた地域住民らは、完成の日が待ち遠しいといった感じでした。

島田線の改良舗装完成

地域住民ら盛大に祝賀会

町道島田線の舗装工事がこ

のほど完成し、七月十一

ラブわが町パートⅠ

より積極的な青年に

独身男女が意見交換

我が住む町の明日のために

「ラブわが町・パートⅠ」と銘打った集いが、七月二十四日有鄰館で開かれました。

これは、青年の町外流出が続く中で、在町青年が「住みよい地域づくりには」「町づくり」に若者ができることは」などを話し合い、パーティを通じて青年男女の交流を深めようと町青年団体連絡協議会が主催したものです。

この日は、独身の男性十三人、女性十四人（うち五人は町外）に助言者ら合わせて四十人余りが参加。

第一部では、自己紹介に

いて「若者の考える住みよい町とは」をテーマに意見交換。

青年らは▽町に活気がみられない▽青年男女の交流の場が少ない▽若者が働ける場が少ない——といった問題点を提起しながらも、「活気が感じられないのは青年活動の停滞、つまり、青年自身に積極性が欠けていることも一因ではないか」といった自己反省も。「魅力ある町を築くために、青年自身ももっと自覚、勉強しなければ」と新たな意欲を燃やしていました。



第二部はパーティ。「洋食マナーと結婚披露宴の演出」などを学んだ後、ワインやジュースをいただきながら自由に意見交換し、交流を深めました。

集いを終えた青年らは「もっと時間がほしかった。今後も続けてほしい」と話し、町外から参加した女性らは「正直言って東由利という町をこれまでよく知らなかつた。今日この集いに参加して認識を新たにしたい。この次も是非参加させてほしい。友達をいっぱい誘ってくる」と述べ、会場をあとにしていきました。

ばい菌は水に流して！

八月は食中毒が多く発生する季節。高温多湿のいまの気候が微生物の繁殖に適しているからです。

使い終わったマナ板や包丁をそのままにしておきませんか。ばい菌の増殖を防ぐには水洗

一、新鮮な原材料を購入し、調理したものは早く食べる。
二、冷蔵庫は、五℃以下を目安に管理し、清潔に。
三、フキン、マナ板、包丁の消毒を。

四、魚が原因の食中毒は、よく水洗いし、十分熱を通すことで殆んど防げる。

五、おにぎり等が原因の食中毒は、手指の化膿菌が原因です。傷がある場合は特に注意。

朝野球大会

野球狂が四年連続優勝

二十五チームが参加し、七月一日から熱戦を繰り広げた第五回春季社会人野球

大会（朝野球）の準決勝、決勝が、同月十一日横渡グラウンドで行われ、延長九回の末、野球狂が玉米パワーズAに逆転勝ちし、春季四年連続優勝を果たしました。

老方クラブ	1	6	1	2	7
蔵ミズ青年会	14	0	1	0	6
宿チーム	0	10	2	0	3
ベアーズ	7	2	0	7	4
高瀬チーム	5	2	4	0	4
役場	4	2	0	8	0
法内ジーンズ	1	0	2	0	4
新町クラブ	2	0	8	0	4
パワーズA	7	2	0	0	4
蔵ジャイアンツ	5	8	4	0	4
イーグルス	7	0	0	0	4
住吉青年会	14	0	0	0	4
東由利メッツ	5	8	0	0	4
モンターズ	4	0	0	0	4
マツシバチーム	1	0	0	0	4
法内フラワーズ	1	2	0	0	4
ベガサス	6	0	0	0	4
ワークマン	3	0	0	0	4
パワーズB	0	6	0	0	4
袖山ファイターズ	0	7	0	0	4
野球狂	4	6	0	0	4
パイレーツ	0	5	0	0	4
大沼組	4	3	0	0	4
ホンダーズ	4	4	0	0	4

(町民グラウンド)

(台山グラウンド)

(横渡グラウンド)

(上の台グラウンド)

日地区住民、町、議会、工事関係者らが出席して、島会館で盛大に祝賀会を行いました。

同線は、国道107号線島バス停から島集落内を通り、再び107号線にぬける延長二四九・三三の路線で、昨年千十四万一千円で全幅五に改良。今年度四百五十万九千円で車道幅員四に舗装したものです。

この日、関係者は、外側線の白線も真新しい路上で記念撮影をし、祝宴では、お互いに杯を交しながら念願の改良舗装完成を喜び合っていました。

現在町道の認定を受けているものは百七路線、一七〇・八キ。このうち二八・九%が改良済みとなっています。

町では、全線を一挙に改修すること



とは困難ですので、公共性や利用度などを考慮し、国や県の制度を取り入れながら順次に整備を進めています。未改良路線については、今後とも、用地の確保など、関係者の特段のご理解とご協力をお願いするものです。

改良舗装完成を喜び、記念写真撮影する島地域住民ら

生徒の健全育成に協力を

夏休みという開放感から起こりがちな事故、非行を防止し、生徒の健全育成を図るため、本荘・由利地域生徒指導研究推進協議会高校部会（部会長佐藤順治郎西目農高校長）

では、次のような「高校生の夏休み生活心得」を作り生徒指導を強化するとともに、地域の方々の理解と協力を望んでいます。

〈生活心得〉

- 1、外泊は厳に慎み、やむを得ない場合は保護者間で同意を得る。
- 2、異性との交友は軽率にな

- らないよう努める。特に女子は誘いにのらない。（乗用車同乗、異性宅訪問など）
- 3、服装・容姿は乱さず、頭髪は特殊な形にしない。（パーマ、額の深剃りなど）
- 4、バイクの使用は学校の許可の条件内で行い、遊びには絶対使わない。
- 5、アルバイトで水泳場監視

- 員等の責任の重いもの、危険のものなうものは学校と相談する。
- 6、キャンプ・旅行・登山等は事前計画を綿密にし、学校の許可を得ること。
- 7、いずれの場合も、行き先・帰宅予定時刻・同行者等を家人に知らせてから出かける。

五分団が総合四連覇

町消防訓練大会

訓練礼式の部優勝は四分団



日頃の訓練の成果を競い合う町消防訓練競技大会は、七月十三日台山グラウンドで行われ、総合の部で五分団がみごと四年連続優勝を飾りました。

競技種目の通常点検及び小隊訓練（訓練礼式）には八小隊、小型ポンプ操法に十六班、自動操作にあたる黒く日焼けした団員の顔には消防人の心意気が

車ポンプ操法に四班が出場。気合いのこもった指揮者の合令に合わせ、きびきびした動作で操作にあたる各団員の黒く日焼けした顔からは、住民の生命と財産を守る消防人の心意気を感じられ、来賓や参観者から、競技を終えるたびに大きな拍手が送られていました。

また、全競技終了後に、特別参加として大琴婦人消防隊が小型ポンプ操法を、住吉・館合両婦人消防隊が消火栓操法をそれぞれ披露。公設消防団に劣らぬ操作ぶりに、会場からはひととき大きな拍手が送られていました。

最後に、町連合婦人消防隊員約二百人が、はんでんや白いかっぱを着姿で首から拍子木を下げて「婦人防火クラブ音頭の踊りを披露」。へみなおとして、お隣り同志、声かけ合って、ガスに、灯油に、電気

市郡消防訓練大会

総合の部で二位

ポンプ車操法

市郡消防訓練大会が、七月二十七日本荘市公園前広場で行われ、本町からは、町訓練大会で一位となった各分団員が出場し、郡内各市町代表の団員と日頃の訓練の成果を競い合いました。

競技は、夜来の雨が降りやまぬ悪コンディションの中で

よし、やっています指差点検……のうたと踊りに、参観者、団員らは、いま一度防災の誓いを新たにしました。成績は次のとおりです。

【総合の部】

- ・第一位 第五分団（佐々木善一郎分団長）
- ・第二位 第四分団（大日向淳男分団長）
- ・第三位 第二分団（荏野洋一分団長）

【通常点検及び小隊訓練の部】

- ・第一位 第四分団一部
- ・第二位 第五分団二部
- ・第三位 第五分団一部

【小型ポンプ操法の部】

- ・第一位 第五分団二部一班
- ・第二位 第四分団一部二班
- ・第三位 第四分団二部一班

【自動車ポンプ操法の部】

- ・第一位 第五分団一部一班
- ・第二位 第三分団一部
- ・第三位 第四分団一部一班

進められましたが、本町団員は、「東由利消防人」の心意気を大いに発揮。わずかの差で一位は逃したものの、ポンプ車操法と総合の部で二位、訓練礼式と小型ポンプ操法で三位の好成績を収め、本町消防技術が郡内でもトップレベルにあることを物語りました。

東田利の地名

= 25 =

町内には、石平・薊平・ガサ平など、〇〇平と呼ぶ小字が十数あり、俗称の〇平は数えきれないほどある。また、平でなく大平と呼んでるものもある。

この平は土地の状態を言っているもので、山のある一面や、山の斜面・ゆるやかな傾斜地などをさしている。つまり、たいらであることや、平坦でこぼこがない状態で、さか平という時はひらが逆になっている意味での逆と、坂になっている

平 (ちやのこし平)

という二つの意があるようである。もともとは広い見通しのきく土地というのが、転じて今のよう使われるようになり、薊・ウリ・ガザ・サスなどの平は、こうした草木がよく生え育つ所だったものと思われる。

ところで、宿の桜並木下の黒沢橋を渡った右手の急な平を、土地の人々は「ちやのこし平」と呼ぶ。

この平の国道と高瀬川との対岸に、宿・巾野部落の日吉神社が杉木立の中に見える。この神社の元は信仰の山比叡

(畑山昭一)

自らの手で健康守る

町健康大学開校

系統的・継続した講座実施



自らの健康は自らの手で守ろう—町では、本荘保健所の協力を得て健康大学を開校、七月五日朋楽荘で開校式を行い、続いて、木内本荘保健所長から「成人病とガン予防について」と題して講話がなされました。

この健康大学は、各分野の専門家を講師に迎え、系統的に継続した衛生講座を実施し、健康に対する意識の高揚とより積極的な健康増進を図り、健康で明るい郷土を築きあげようというものです。開設期間は、三

木内保健所長の講話に耳をかたむける受講者

カ月、延べ六回を予定しています。

応募受講生は、四十代、五十代を中心にお母さん方七十人。今後、一週間に一回の割合で▽母子衛生▽栄養改善▽成人病予防▽歯科衛生▽健康増進▽精神衛生▽農村医学—などの各講座のほか、受講生の健康診断や町の保健衛生の現状と対策について地域診断なども行うことにしています。

上・中・下通担当民生委員に畠山さん

町民生委員で老方上通、中通、下通を担当していました小松豊子さん(中通)が、このほど一身上の理由により辞職され、代わって畠山龍子さん(中通、四十八歳)が七月十六日付で厚生大臣から委嘱されました。

民生委員は児童委員も兼ねることになっており、生活や家族のことなど、悩んでいることがありましたら気軽に相談してください。

畠山さんの任期は、小松さんの残任期間である昭和五十八年十一月三十日までとなっています。

8月1日~10日
夏の交通安全運動
8月1日~31日
飲酒運転追放強調
県民運動

町長日記

ります。

今ほど木材が不況のときはありません。昭和初年の世界不況のときは我が国ももちろん不況で「昭和初期の農村不況」という言葉で今も語られています。しかし、あの際は農村だけの不況ではなく、全てが不況だったのです。回復とともに二次産業、一次産業と立ち直りました。

次は終戦当時の木材不況です。この場合は、戦時産業が終戦とともに止まり、平和産業が出直すまで、ひどいインフレになりました。国民は、食糧をはじめ日常の消費材を手に入れるのがいっばいで、木材のような原材料までには金は回らない、そういう不況でした。

今日の不況は、御承知のように貿易の自由化の中の構造的なもので、外材の輸入が減らない限り内地材には陽が当たってきません。しかし最近、消息通や専門家の見通しは、外材の不況、輸入規制などから、国産材時代を迎える時期が来ると予測しています。それがいつごろかは明確でないにしても、国の行政もその判断に立っているようであ

政府は、中核林業、間伐促進、森林総合整備と矢継ぎ早に民有林の振興施策を打ち出しています。本町は、五十二・五十六年度と中核林業事業を実施しましたが、実施率は六〇%台に終わっています。間伐促進対策も十分ではなく、今年度からの森林総合整備事業は五カ年間で三億四千万円という巨額な事業ですので、是非とも実施率を上げて林家の経営にプラスさせたいと考えます。

この実施に当たったの実施体は森林組合です。しかし、組合が十分に力を発揮出来るためには職員の不足など、構造的に問題がありますので、このたび、町の林業職員二人を組合と併任をして林業行政の活力が出るようにしました。

林業の振興には課題が多いが、差し当たっては除伐、間伐です。各林家がこの不況下に沈滞しないで、なすべき施策は実施する、そのために森林組合が身近に接近する態勢に早くあることを切実に期待し、協力をしたいと考えています。

く利用されています。

このたび、利用頻度の高い小説類などについて、利用者の便宜をはかる意味あいから著者別（五十音順）に目録（全五十一ページ）を作成しました。

目録は、公民館に準備しており、希望者には無料で差しあげています。ご利用ください。

印刷 K K 本間印刷所

KK本間印刷所